



運搬 広瀬幸平

25
まいん

からたにさんれんきょう 唐谷三連橋

銅山深く静かに眠る
巨大レンガ柱



現在の唐谷三連橋

からたにさんれんきょう
唐谷三連橋は、千人塚から15分程でたどり着きます。

唐谷三連橋をまたぐ上部鉄道は明治25年(1892)に建設着手し、なんと翌年に完成しました。工事費は当時のお金で122,971円でした。

日本最初の山岳鉱山専用鉄道として、明治26年8月27日、角石原から石ヶ山丈の間5,532メートルが開通しました。

中間駅として、ここから歩いて約30分ほどの場所一本松停車場跡があります。

採掘場の下部移行と第三通洞、東平から黒石間に複式索道の完成により、上部鉄道の輸送量は激減し、明治44年10月7日、上部鉄道は廃止されました。100年以上たった今でも、山中には重厚なレンガ造りの橋脚が残っています。



橋脚の長さ5メートルを超える



注意！

三連橋は橋げたの老朽化で、渡れません。いったん川に下りて向こう岸に渡ります。また、周辺は大変滑りやすいので十分ご注意ください。